

学校だより



お世話になりました 実りの秋から、 次なるステップへの冬へ

カレンダーも最後の一枚となり、校庭の木々もすっかり冬の装いとなりました。

今学期を振り返りますと、各学年の行事、校外学習など、大きな行事が目白押しでした。行事を経るごとに、子供たちが一回りも二回りも逞しく成長していく姿を目の当たりにし、教職員一同、大きな喜びを感じております。

2学期の終業式にあたり、お子さんにぜひ伝えていただきたいことがあります。それは「できたこと」への称賛です。結果だけでなく、「あきらめずに練習した」「毎日欠かさず宿題を出した」というプロセスに光を当ててあげてください。その自己肯定感が、3学期（1月）からの新しい目標への原動力となります。

冬休みは、ご家族でゆっくりと過ごす貴重な時間です。大掃除や新年の準備など、家庭での役割（お手伝い）を一つ決めて取り組むことも、自立への大きな一歩となります。

冬休みを「自分を磨く時間」に

冬休みは、心と体をゆっくり休める時間であるとともに、自分の好きなことに没頭できるチャンスもあります。

- ◎読みたかった本を最後まで読む
- ◎縄跳びの新しい技に挑戦する
- ◎家の掃除を手伝う
- どんな小さなことでも構いません。自分なりの「冬の目標」を立てて、有意義な14日間を過ごしてほしいと願っています。

家庭での団らんと子供の心のケア

校門で挨拶をしていますと「おはよう！」という声に混じって、白い息を吐きながら元気に登校する子供たちの姿に、私たちも元気をもらっています。一方で、学期末の疲れが出やすい時期でもあります。冬休みは

「家庭が主役」の時間です。大掃除や正月準備など、家族の一員としての役割を経験させる絶好の機会でもあります。ぜひ、お手伝いなどを通して「ありがとう、助かったよ」という言葉をかけてあげてください。自分の存在が家族の役に立っているという実感は、子供たちの自己肯定感を大きく育みます。1月の始業式、一回り成長した子供たちに会えるのを楽しみにしております。

【校訓】

やさしく かしこく たくましく

【創立151年】

安全で充実した冬休み

今学期も、子供たちが大きな事故なく過ごせましたのは、地域の皆様、保護者の皆様の見守りがあってこそと、深く感謝しております。さて、冬休みはクリスマスやお正月など、子供たちにとって楽しみな行事が続きます。一方で、生活リズムが乱れたり、SNSやゲームなどのトラブルが増えやすい時期でもあります。

「冬休みのくらし」について、今一度ご家庭でも話題にしていただければ幸いであります。皆様、どうぞ健康に留意され、良いお年をお迎えください。



PTA本部役員さんによる門松作り

子育ては、「戸惑いと悩み」の連続です～正しいと考えられる方向での対応が大切です～わが子の、次のような変化や様子に悩んだり自信を失ったりしていませんか？

- 親の言うことを聞かない
- ゲームばかりしている
- 友だちとぶつかることが多い
- 勉強がついていけないようだ
- 子育ては一筋縄ではいかないものです。それは昔も今も同じだと思っています。そこで、これらの課題を感じたとき、親としてどのように対応するのが賢い選択なのでしょうか。こう対応すればすべてうまくいくという万能薬はないと思いますが、大切にしたい考え方や対応策はあります。そのいくつかを紹介します。
- ①悩みがあつたら、その道の信頼できる専門家や学校等に相談する（自分をさらけ出してしまったほうがうまくいくことが多い）
- ②子どもの言い分けはよく聞く（しかし、子どものすべての言い分を鵜呑みにしない。よくわかつてあげることが大切）
- ③世間の偏見や誤解、自分の思い込みに左右されないことが大切（意外に多い）
- ④自分の経験や周りの助言は大切だがよく吟味して対応する
- ⑤きちんと育てようと思いつぎない（ユーモアや心の余裕が大切）
- ⑥適度に甘えさせてあげることも大切（愛情不足の子が多い）
- 子育てに関しては親の誰がアマチュアなのですから、うまくいかなくて当然だと考えることが大切です。他の家はうまくいっているように見えがちですが、ほとんどの親がそれぞれのレベルで悩んでいるのが実情です。
- 子育ての愚痴や悩みは、はき出してしまうのが結局は近道だと思います。現実的にはなかなか相談しづらいと思われるかもしれません、そこはブチ勇気です。

1月の行事予定

○8日（木）
3学期始業式

○14日（水）
避難訓練

○15日（木）
学校に15デー

○28日（水）
3校合同研修会
児童は4時間授業、
給食後放課

○30日（金）
くりっこ集会

※2月の学習発表会は、現在のところ2月15日（日）の午後から予定しています。

行事等は変更される場合がありますので、ご了承ください。